

平成25年度SPOD事業実施状況一覧

平成25年7月25日現在

事業名	開催日時	開催場所	参加者数	備考
1. FD事業				
①新規採用教員研修				
・教育力開発基礎プログラム	平成25年8月30日～8月31日	徳島大学		
・よりよい授業のためのFDワークショップ	平成25年9月12日～13日	香川大学		
・第20回 授業デザインワークショップ(愛媛大学)	平成25年7月6日～7日	久万高原ふるさと旅行村	24	済
・第21回 授業デザインワークショップ(愛媛大学)	平成25年9月2日～4日	愛媛大学		
・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	平成25年9月2日～3日	高知大学		
②FDファシリテーター(FD担当者)養成研修	平成25年6月22日～23日	淡路青少年交流の家	14	済
③ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ				
・東四国対象(徳島県、香川県)	平成26年1月～3月	徳島大学		
・西四国対象(愛媛県、高知県)	平成25年9月17日～18日	愛媛大学		
・高専対象	平成25年11月15日～17日	愛媛大学		
④ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	平成25年7月8日	愛媛大学	4	済
⑤教育系外部資金獲得のための申請書作成ワークショップ	平成26年3月	愛媛大学		
⑥組織開発に関する共同研究事業				
⑦その他各種FDプログラムの実施	※	各加盟校	※	※別添参照
⑧FDプログラムの開発				
2. SD事業				
①職員のための講師養成講座				
・第1回	平成25年6月13日～14日	愛媛大学	12	済
・第2回	平成25年11月8日	愛媛大学		
②大学人・社会人としての基礎力養成プログラム				
・レベルⅠ 第1回	平成25年5月9日～10日	愛媛大学	70	済
・レベルⅠ 第2回	平成25年10月17日～18日	愛媛大学		
・レベルⅡ	平成25年9月26日～27日	愛媛大学		
・レベルⅢ	平成25年7月4日～5日	愛媛大学	19	済
③学務系職員養成プログラム				
・レベルⅡ	平成25年7月11日～12日	愛媛大学	21	済
④次世代リーダー養成プログラム				
・第1回	平成25年5月23日～25日	愛媛大学	18	済
・第2回	平成25年8月1日～3日	桃山学院大学		
・第3回	平成25年11月14日～16日	香川大学		
・第4回	平成26年1月23日～24日	徳島大学		
⑤高等教育トップリーダーセミナー	平成25年8月22日	愛媛大学		SPODフォーラム2013プログラム
⑥スタッフ・ポートフォリオ作成ミニワークショップ	平成25年8月21日	愛媛大学		SPODフォーラム2013プログラム
⑦その他各種SDプログラムの実施	※	各加盟校	※	※別添参照
⑧SDプログラムの開発				
3. SPODフォーラム2013	平成25年8月20日～23日	愛媛大学		
4. SPOD共通事業	※	各加盟校	※	※別添参照
5. SPOD運営関係				
① ネットワーク総会				
	平成26年3月	愛媛大学		
② ネットワークコア運営協議会				
・第1回(遠隔)	平成25年4月24日	各コア校	39	済
・第2回	平成25年5月29日	愛媛大学	30	済
・第3回(遠隔)	平成25年6月20日	各コア校	42	済
・第4回(遠隔)	平成25年7月18日	各コア校	40	済
・第5回(遠隔)	平成25年9月	各コア校		
・第6回(遠隔)	平成25年11月	各コア校		
・第7回	平成25年12月	愛媛大学		
・第8回(遠隔)	平成26年1月	各コア校		
・第9回	平成26年3月	愛媛大学		
③ 事業評価委員会	平成26年3月	愛媛大学		
④ 監査	平成26年3月	愛媛大学		ネットワーク総会と同日開催
⑤ その他				
(i) FD/SD分科会	平成26年3月	愛媛大学		ネットワーク総会と同日開催
(ii) SPOD加盟校県内会議				
・徳島県内(随時開催)	第1回 平成25年5月30日 第2回 平成25年10月	徳島大学 徳島大学	18	済
・香川県内(随時開催)			-	
・愛媛県内(随時開催)	第1回 平成25年7月25日 第2回 平成26年1月	愛媛大学 愛媛大学		
・高知県内(随時開催)			-	

研修プログラム日程一覧(平成25年度)

平成25年7月24日現在

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
4月						
4月4日(木)	学生を眠らせない講義法のコツ	愛媛大学	FD/SD	3	17	20
4月4日(木)	学習動機を高める第1回目の授業づくり	愛媛大学	FD	3	12	15
4月5日(金)	教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術	愛媛大学	FD	3	13	16
4月5日(金)	学生の能力を高める評価法のコツ	愛媛大学	FD	3	8	11
5月						
5月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回	愛媛大学	SD	70		70
5月23日(木)～25日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	SD	18		18
6月						
6月3日(月)	授業アンケートを見直しませんか?—アンケートの効果的実施と活用方法—	徳島工業短期大学	FD	13		13
6月4日(火)	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	愛媛大学	FD/SD	38		38
6月7日(金)	クラスルームコントロール	弓削商船高等専門学校	FD	21		21
6月11日(火)	担任教員に求められること —担任スキル開発ワーク—	新居浜工業高等専門学校	FD	39		39
6月13日(木)～14日(金)	講師養成研修	愛媛大学	SD	12		12
6月15日(土)	教職員のためのPowerPoint—分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方—	香川短期大学	FD/SD	54		54
6月20日(木)	教育の質保証と学習成果アセスメント	松山大学	FD/SD	34		34
6月22日(土)～6月23日(日)	FDファシリテーター・FD担当者養成研修	徳島大学	FDer	14		14
6月28日(金)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	香川大学	SD	57		57
7月						
7月2日(火)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	愛媛県立医療技術大学	FD/SD	24		24
7月4日(木)～5日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	SD	19		19
7月6日(土)～7日(日)	第20回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	24		24
7月8日(月)	ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	愛媛大学	FD	4		4
7月11日(木)～12日(金)	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	21		21
7月18日(木)	大学職員のための企画力養成講座	高知大学	SD	24		24
7月26日(金)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	高知工科大学	SD			
8月						
8月1日(木)	担任教員に求められること—担任スキル開発ワーク—	高知工業高等専門学校	FD			
8月1日(木)～3日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	南大阪コンソーシアム (会場提供)	SD			
8月19日(月)	授業に活かせる理解と記憶の教育学	香川県立保健医療大学	FD			
8月27日(火)	動機を高め記憶に残る講義法—動機と記憶の理論—	愛媛大学	FD/SD			
8月30日(金)	ルーブリック評価入門—ブレない・速い・楽チン成績評価のススメ—	愛媛大学	FD/SD			
8月30日(金)	講義のための話し方入門	愛媛大学	FD/SD			
8月30日(金)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学 短期大学部	SD			

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
8月30日(金)～31日(土)	教育力開発基礎プログラム	徳島大学	FD			
8月下旬(SPODフォーラム)	グラフィック・シラバスの作成方法	愛媛大学	FD			
8月下旬(SPODフォーラム)	学習評価の基本	愛媛大学	FD			
8月下旬(SPODフォーラム)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	FD			
8月下旬(SPODフォーラム)	大人数講義法の基本	愛媛大学	FD			
8月下旬(SPODフォーラム)	高等教育トップリーダーセミナー	愛媛大学	FD/SD			
8月下旬(SPODフォーラム)	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅠ)	愛媛大学	SD			
9月						
9月2日(月)～3日(火)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD			
9月2日(月)～9月4日(水)	第21回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD			
9月3日(火)	Adobe Premiereを使った動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD			
9月5日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン —考え方と進め方—	高知大学	FD			
9月6日(金)	コミュニケーションで知識を蓄えるTBLチーム基盤型学習法	高知大学	FD*			
9月6日(金)	パワーポイント2010基本技・便利技	愛媛大学	FD/SD			
9月6日(金)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門—ARCS 動機づけモデルの活用—	愛媛大学	FD/SD			
9月6日(金)	授業に活かせる理解と記憶の教育学	高知学園短期大学	FD			
9月10日(火)	英語で授業を教えたい教員のためのワークショップ	愛媛大学	FD			
9月10日(火)	大人数講義法の基本(遠隔配信プログラム)	愛媛大学	FD			
9月12日(木)	成績評価とフィードバック —評価の原則からルーブリック評価まで—	高知大学	FD			
9月12日(木)	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	徳島文理大学・徳島文理大学 短期大学部	FD*			
9月12日(木)～13日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD			
9月12日(木)～13日(金)	教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	愛媛大学	プレFD			
9月13日(金)	教職員のためのPowerPoint—分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方—	愛媛大学	FD/SD			
9月17日(火)	効果的なeラーニング活用法	愛媛大学	FD			
9月17日(火)	障がい学生に対応した授業方法入門編	愛媛大学	FD			
9月17日(火)	LMS(Moodle)の講義への活用術	香川大学	FD			
9月17日(火)	大人数講義を魅力的にするテクニック	香川大学	FD			
9月17日(火)～18日(水)	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<西四国対象>	愛媛大学	FD			
9月17日(火)～18日(水)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			
9月18日(水)	基礎から学ぶ学習評価法	高松大学・高松短期大学	FD			
9月18日(水)	学習意欲を高める授業づくり —学生はどんなときに学んでいるのか?—	今治明德短期大学	FD			
9月20日(金)	eラーニング入門—Moodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう—	愛媛大学	FD/SD			
9月26日(木)～27日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD			
9月26日(木)～27日(金)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD			
9月30日(月)	TA講習	高知大学	プレFD			
9月上旬	職員相互の公開授業のあり方	高知県立大学	FD			

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
9月中	マンネリ化しない公開授業の秘訣 —公開授業の効果的実践方法—	四国大学・四国大学短期大学部	FD			
9月中	スタッフ・ポートフォリオ入門—職員と大学が共に輝くために—	高知県立大学	SD			
9月中	高等教育機関における安全衛生	愛媛大学	SD			
10月						
10月4日(金)～6日(日)	FDer養成講座、SDC養成講座	愛媛大学	FD/SD			
10月17日(木)～18日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	SD			
11月						
11月8日(金)	講師養成研修	愛媛大学	SD			
11月14日(木)～16日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	香川大学	SD			
11月15日(金)～17日(日)	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			
11月上旬	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門—ARCS動機づけ	徳島大学	FD*/SD			
11月下旬	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	阿南工業高等専門学校	FD			
12月						
12月13日(金)	学生の参加を促す授業方法	香川大学	FD			
12月13日(金)	初年次教育をアクティブに動かす方法	香川大学	FD			
12月16日(月)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD			
12月16日(月)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD			
12月17日(火)	クリッカーで教育・研究が変わる！	香川大学	FD/SD			
12月上旬	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目)	愛媛大学	SD			
12月末～1月	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	FD/SD			
1月						
1月22日(水)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	高知大学	FD*			
1月23日(木)～24日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	徳島大学	SD			
1月中旬	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD			
1月～3月	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<東四国対象>	徳島大学	FD			
2月						
2月7日(金)～8日(土)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD			
2月28日(金)	「プレゼンテーションの方法」の教え方	香川大学	FD			
2月28日(金)	「レポートの書き方」の教え方	香川大学	FD			
3月						
3月4日(火)	「日本語技法」の教え方 1	香川大学	FD			
3月4日(火)	「日本語技法」の教え方 2	香川大学	FD			
3月7日(金)	協同学習の基本(入門編)	香川大学	FD			
3月7日(金)	「情報整理の方法」の教え方	香川大学	FD			
3月20日(木)	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと	高知大学	FD*			
3月26日(水)	初年次科目のためのグループワークの技法	高知大学	FD			
3月27日(木)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	FD*			

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
3月31日(月)	TA講習	高知大学	プレFD			
3月中	教育系外部資金獲得のためのワークショップ	愛媛大学	FD/SD			
3月中	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD*/SD			
未定	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	四国学院大学	FD/SD			
未定(年4回程度)	FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD			
未定	授業へのグループワークの効果的な導入	香川大学	FD			

平成25年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム実施状況一覧

大学等名	区分	プログラム名	開催日	参加者数	講師担当校	講師	備考	
徳島	FD	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門～ARCS動機づけモデルの活用～	11月上旬		愛媛大学	仲道		
	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	未定		徳島大学			
	FD	マンネリ化しない公開授業の秘訣～公開授業の効果的実施方法～	9月中		徳島大学	川野		
	FD	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	9月12日(木)		高知大学	立川		
	FD	授業アンケートを見直しませんか?～アンケートの効果的実施と活用方法～	6月3日(月)	13	高知大学	塩崎		
	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	11月中		香川大学	岩中		
	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	6月28日(金)	57	愛媛大学	秦		
	FD	授業に活かせる理解と記憶の教育学	8月19日(月)		愛媛大学	佐藤		
	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	未定		香川大学			
	FD	基礎から学ぶ学習評価法	9月18日(水)		香川大学	佐藤		
香川	FD・SD	教職員のためのPowerPoint ～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	6月15日(土)	54	高知大学	立川		
	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	8月2日(木)		香川大学			
	FD・SD	教職員のためのPowerPoint ～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	9月13日(金)		高知大学	立川		
	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	7月2日(火)	24	香川大学	岩中		
	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	8月30日(金)		愛媛大学	仲道		
	FD・SD	教育の質保証と学習成果アセスメント	6月20日(木)	34	愛媛大学	山田		
	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	未定		愛媛大学			
	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	9月18日(水)		高知大学	俣野		
	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月上中旬		徳島大学	吉田		
	FD	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	6月11日(火)	39	阿南工業高等専門学校	坪井		
愛媛	FD	クラスルームコントロール	6月7日(金)	21	愛媛大学	秦		
	SD	大学職員のための企画力養成講座	7月18日(木)	24	愛媛大学	阿部		
	SD	スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に輝くために～	9月5日(木)		愛媛大学	阿部		
	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	7月26日(金)		愛媛大学	阿部		
	FD	授業に活かせる理解と記憶の教育学	9月6日(金)		愛媛大学	佐藤		
	FD	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	8月1日(木)		阿南工業高等専門学校	坪井		
	高知	徳島大学						
		鳴門教育大学						
		四国大学・四国大学短期大学部						
		徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部						
徳島工業短期大学								
阿南工業高等専門学校								
香川大学								
香川県立保健医療大学								
四国学院大学								
高松大学・高松短期大学								

平成24年度SPOD事業の評価について

SPODでは、毎年度事業評価を行い、次年度の事業に活用することとしている。

このたび、平成24年度事業について、5名の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会委員から活動報告書及びヒアリングをもとに評価をいただいた。

各委員からは、四国地区全ての高等教育機関が加盟し、事業を継続・拡大していること、特に、「SPODフォーラム2012」を初めて愛媛から離れ、徳島大学で開催したことについて高い評価をいただいた。また、新たに始動した調査・研究プロジェクト事業への期待も寄せられている。一方で、今後のSPOD事業の展開については、これまでの取組成果を検証し、改めてSPOD事業の方向性を見つめ直す必要があるとの指摘もいただいた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

(1) 本事業の強みや期待

① FD

- ・従来からのティーチング・ポートフォリオに加えて、アカデミック・ポートフォリオの開発に取り組んでいること。また、メンターを配置し、教員が作成する際の支援を行おうとしている点も評価できる。
- ・FDファシリテーターやFDer養成のための研修を実施している点。
- ・SPODにおいて新任教員、大学院生、ポスドクの若手の教員向けにFDを整備しつつあることは大変評価できる。受講する若手教員が実際に授業を行い、苦労した情報を分析し、整理し、さらにブラッシュアップできるようなFDプログラムを展開して欲しい。

② SD

- ・SDプログラム講師を担当できる職員を育成する「講師養成研修」を実施していること。
- ・「学務系職員養成プログラム」にみられるように、職務別の養成プログラムの開発に取り組んでいること。
- ・各大学共通に必要な学修コンテンツが理解され、それに基づいたSDプログラムが整備されている。

③ SPOD共通事業

- ・SPOD内講師派遣について、平成23年度は年間23機関、平成24年度は24機関と、事業の規模を維持して継続的に実施しておられることは高く評価できる。
- ・調査研究プロジェクトが立ち上げられたことで、連携事業の効果検証という、重要で前例のないプロジェクトを推進していく契機となった。
- ・SPOD研修ニーズアンケートの結果を反映して、新規プログラムを立ち上げ、実施されたことは、PDCAサイクルの観点からも評価できる。
- ・「SPODフォーラム」を定期的に開催し、多くの参加者を得ていること。これは、本組織の活動が広く支持されていることの証左とみることができる。

- ・SPODフォーラムを徳島大学で開催できたことで、徳島県内の加盟校からの参加者が増加したことなど、さまざまな効果があった。

④ 組織運営等

- ・四国地区の高等教育機関 33 校すべてが加盟していることが何よりの強みである。
- ・加盟校からの会費で自主的な運営をされていることに敬意を表す。
- ・遠隔会議システムによるコア校連絡会議等の開催が定着したので、効率的な審議ができるようになった。
- ・SPODの運営において、供給側の改善はすこぶる高い。特に「事業評価委員会からの指摘事項に対する対応状況について」という資料があるが、この資料を公表していることは重要であり、事業改善の推進役になっている。今後とも、対応策、実施状況、評価委員からの意見の記載において、具体的な記述とするよう求めたい。改善されている様子が一般の誰もが分かれば、この資料はSPODの意義や運営の適切さに関する説明責任を十分に果たすものと思う。

(2) 本事業の弱みや改善点

① 多様なニーズに応じた研修プログラムの開発

【FD】

- ・プログラムがやや出尽くした感がある。これに伴うマンネリ化があるのではないかと（実施者自身にも）。
- ・現在在職している教員が学生時代を過ごした大学の授業経験とは全く異なったポリシーで教育改革が進もうとしている。このような新たな動きを的確にFDの中で研鑽できるようなプログラムの提供を願いたい。特に授業外で学生が学習しなければならないような授業をどのようにして行うかという課題は重要と考える。
- ・プログラムの内容がマイクロレベルのFD（授業・教授法の改善）に偏っている。長期的な関与も含めて、ミドルレベルやマクロレベルのFDを充実させていくべきであろう。

【SD】

- ・次世代リーダー養成研修については、もう少し広範に、優秀だが手を挙げたくても挙げられない職員に受講してもらおう手だてを考える必要があるのではないかと。

【FD・SD】

- ・教職協働は、古くて新しい課題である。どのように教員と職員とが協働して教育研究等を推進するか。FDとSDとにまたがる課題検討プログラムの開発が必要になってきているように思う。

② 教員の資格化

- ・FDer養成の取組は高く評価できるが、一時検討されていたFDerの資格化は、その後どのようなになったのか明確にする必要がある。資格に関する方針を明確にしてほしい。
- ・新任教員研修が標準化したのであるから、教授能力証明書の標準化についても、迅速に進める必要があるのではないかと。

③ スタッフ・ポートフォリオの活用

- ・現在のポートフォリオは、身上調書と変わらない。これをあえてポートフォリオと読んでいる意義が不鮮明である。
- ・講師養成プログラムを利用して内部で指導者を育成する方向は適当である。ただ、それらのプログラムにおいて、講師とはこのような資格、能力が必要であるとステレオタイプに考える必要はないのではないか。教えるという体験や経験が第一に重要である。教えるという体験や経験を通して得られた喜びや失敗や改善等を検討課題とした講師養成プログラムを是非検討願いたい。

④ SPOD事業の取組成果の検証，情報発信

- ・教員は何を求めているかという原点にもどって再度分析し、教員がこのFD出席は必須と考えるような環境とし、広報を工夫するよう求めたい。
- ・四国全土という大規模でFDを共同で推進してこられて、それぞれの大学の学生は教員が変わっていることを実感しているのだろうか。
- ・SDの研修会やスタッフ・ポートフォリオをこれだけ大々的に実施されておられて、職員の能力は高くなったのか。研修会参加の満足度はわかるが、これだけの規模で長期間実施されておられるので、その成果を見せていただければ、我々の役に立つ。
- ・次世代リーダー養成について、対象者の割には予算投資が大き過ぎると言える。プログラムの重要度は理解されるものの、このような投資に見合う成果が出ているかどうかについては大いに検討する余地がある。

⑤ SPODの方向性

- ・SPODフォーラムへの参加者が職員（65%）、教員（33%）と、少しアンバランスになってきている。フォーラムだけでなく、全般的に、SPODのFD事業に対する加盟校教員の関心が低くなりつつあるのではないか。
- ・何のためにSDを行うのか、目的がやや不鮮明な印象を受ける。
- ・SPOD立ちあげ当初に描いていた構想（大学カリキュラムのようなもの）が変容しているようにも思える。一度、構想を見直し、現実的な構想を再度立てていただきたい。
- ・当初事業計画から事業も拡大し深化してきている。SPOD事業における統合と分化の方向性について、中期計画の形で参加校で共有する時期に至っているように思う。

⑥ SPOD内ネットワークの強化

- ・拠点校以外の大学の積極的な関与が見えにくい。たとえば本組織の運営に関して、各大学の役割と責任を明確にすること、積極的な役割分担を促すための支援を行うことなどが必要ではないか。

⑦ 他機関との連携

- ・SPODの地域性や資金面を考えると、国だけではなく地域の行政や民間企業との交流機会をつくっていくことが大切である。

(3) 次年度実施に向けての提案

① SPODにおける取組の評価、検証

- ・カリキュラム／組織変容の継続的支援。複数の機関をパイロット校として、資源を投入するターゲットを絞りこみ、連携成果をあげるというアイデアについても検討するといいい。現状のように単発の研修会ではなく、組織変容、カリキュラム変容を長期的に促進するというプログラムである。対面と遠隔会議を年に何回か繰り返していくというシステムである。

② ポートフォリオの普及促進

- ・愛媛大学や次世代リーダーを越えて、加盟校全域にスタッフ・ポートフォリオを促進するための仕組みについて早急に議論すべきである。すでに大阪府立高専でもスタッフ・ポートフォリオの作成ワークショップが開催される予定である。SPOD内で生まれた取組みをまずはSPOD内で普及させるべきである。
- ・ティーチング・ポートフォリオをSPOD内でどのように位置づけていこうとされているのか、方向性が分からない。

③ SPODの事業運営

- ・これから「SPODフォーラム」を毎年各県に回し、オリンピックのように4年に一回フォーラムが各県に回ってくるように定例化すると、四国全体が活性化するのではないか。
- ・事業評価委員会といった第三者機関のみならず、組織内の機関でも同様な評価と改善実施状況報告を行ってみてはどうだろうか。

平成24年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について

【すぐに検討が必要な課題】

事項	評価委員からの意見	対応策(案)
1. 多様なニーズに応じた研修プログラムの開発	① 【FD】 現在在職している教員が学生時代を過ごした大学の授業経験とは全く異なったポリシーで教育改革が進もうとしている。このような新たな動きを的確にFDの中で研鑽できるようなプログラムの提供を願いたい。特に授業外で学生が学習しなければならないような授業をどのようにして行かという課題は重要と考える。	SPODフォーラムでは、平成24年度はアクティブラーニング、平成25年度はポートフォリオを全体テーマとするなど、時代のニーズに沿ったプログラムの提供を行っているが、更なるプログラムの充実のため、外部機関等との共催についても検討する。学生の時間外学習についてもe-learning関連のプログラムの開発等も行って、今後も社会の動向をとらえたプログラムを開発・展開するよう努める。
	② 【FD】 プログラムがやや出尽くした感がある。これに伴うマンネリ化があるのではないか(実施者自身にも)。	さらに、SPOD全加盟校の教員向けに実施された「SPOD教員向けニーズアンケート」の集計結果や調査・研究プロジェクトでの調査結果等を検証し、ニーズに合うプログラム開発につなげる。また、FD/SDプログラム受講者アンケートの分析を行い、レベル別、経験年数別等のプログラム開発についても検討する。
	③ 【FD】 プログラムの内容がマイクロレベルのFD(授業・教授法の改善)に偏っている。長期的な関与も含めて、ミドルレベルやマクロレベルのFDを充実させていくべきであろう。	FDプログラムについては第2段階に入ってきたとも考えられ、プログラム開発においてはマイクロレベルのFDからミドル、マクロレベルのFDへ視野を広げ、研修分野や研修形態等も含め、研修のあり方について見直しを検討する。また、積極的に新規講師の開拓に努めており、今年度のフォーラムでも新たに4人が加わった。今後も、幅広いニーズに対応できるよう講師の開拓を行う。
	④ 【FD・SD共通】 教職協働は、古くて新しい課題である。どのように教員と職員とが協働して教育研究等を推進するか。FDとSDとにまたがる課題検討プログラムの開発が必要になってきているように思う。	SPODフォーラム2013では、新たにマネジメントレベルのFD・SD共通プログラムを実施予定であり、教員と職員が共に考え、交流する機会を設けている。今後もこうしたFD・SD共通プログラムの開発を検討していく。
	⑤ 【SD】 次世代リーダー養成ゼミナールについては、もう少し広範に、優秀だが手を挙げたくても挙げられない職員に受講してもらおう手だてを考える必要があるのではないかと。	今年度から本格始動する調査・研究プロジェクトの1つである、SDの効果検証及び組織変容を検証する「連携効果・組織変容検証プロジェクトチーム」には、次世代リーダー養成ゼミナールの修了生等も加わっており、修了生を通じて、本ゼミナールの有効性を広く発信することにより、研修参加にあたっての周囲の理解を図っていく。また、次世代リーダー養成ゼミナールについては、修了生を管理職にあてる等、制度化された組織も出てきており、その有効性は認められつつある。これらの組織を成果実例として発信していくことにより、各加盟校における本ゼミナールの活用を促していく。
2. 教員の資格化	① 【FD】 新任教員研修が標準化したのであるから、教授能力証明書の発行やその基準についても、迅速に進める必要があるのではないかと。	調査・研究プロジェクト事業の1つ「高等教育教授能力証明プログラム検討ワーキンググループ」においてすでに議論を始めており、今後も引き続き検討を行う。
3. SD講師養成	① 【SD】 SD講師養成プログラムを利用して内部で指導者を育成する方向は適当である。ただ、それらのプログラムにおいて、講師とはこのような資格、能力が必要であるとステレオタイプに考える必要はないのではないかと。教えるという体験や経験が第一に重要である。教えるという体験や経験を通して得られた喜びや失敗や改善等を検討課題とした講師養成プログラムを是非検討願いたい。	経験の少ないSD講師については、事前に模擬授業を行い、SPOD-SDC等の助言により、個性を活かした講師となるような環境が整えられている。頂いたご意見を参考に、今後も、SD講師養成に努めていく。
4. SPOD事業の取組成果の検証、情報発信	① 【FD】 SPODが提供しているFDプログラムが、教員のニーズにキャッチアップしていないかもしれない。教員は何を求めているかという原点にもどって再度分析し、教員がこのFD出席は必須と考えるような環境とし、広報を工夫するよう求めたい。	上記1-①～③への対応を含めFDで真に必要なとされている研修の開発・提供に努める。SPODホームページやメールマガジン等を活用し、SPOD事業の積極的広報及びフォーラム等の様子の一部を動画で配信するなど、プログラムガイドや実施要項では伝わらない情報を発信していく。SPODフォーラムについては、今後他のネットワークや機関などと連携してのコラボ開催や共催を検討し、参加者の増加やプログラムの充実を図る。また、FDを必須とする環境については、テニユア・トラック制度を導入し、対象教員に一定時間の研修を義務づける組織も出てきている。大学設置基準等では、教員のFDが義務化されており、加盟校内の教員がSPOD事業のFDプログラムを積極的に活用してもらえるよう、当大学の事例を含め、広報活動を充実させる。
	② 【FD】 SPODフォーラムへの参加者が職員(65%)、教員(33%)と、少しアンバランスになってきている。フォーラムだけでなく、全般的に、SPODのFD事業に対する加盟校教員の関心が低くなりつつあるのではないかと。	
	③ 【SD】 SDの研修会やスタッフ・ポートフォリオをこれだけ大々的に実施されておられて、職員の能力は高くなったのか。研修会参加の満足度はわかるが、これだけの規模で長期間実施されておられるので、その成果を見せていただければ、我々の役に立つ。	1-⑤への対応と併せ、スタッフ・ポートフォリオを活用して、研修受講後の職員を継続的に追跡していくシステムについて検討する。次世代リーダー養成ゼミナールについては、受講生や修了生の間でネットワークが構築されており、このネットワークを活用しつつフォローアップ調査を行い、研究論文等にまとめ、公表していく。さらに、受講生が作成している報告書については、プロジェクト実践論文となるよう指導体制を強化し、現行のレポート集にとどまらない、広く成果を確認できるものとなるよう見直しを図る。また、本ゼミナールは長期的に見れば組織内における成果は十分見込めるプログラムであるが、他の研修と比較して予算だけでなく講師への負担も圧倒的に大きいと、今後受講料の一部を各機関において負担いただくことが可能かどうか調査を含め、検討していく。
	④ 【SD】 次世代リーダー養成について、対象者の割には予算投資が大き過ぎると言える。プログラムの重要度は理解されるものの、このような投資に見合う成果が出ているかどうかについては大いに検討する余地がある。	
5. SPODの方向性	① 【SD】 何のためにSDを行うのか、目的がやや不鮮明な印象を受ける。	SPOD事業を開始して5年が経過する中で、実際の運用を経て当初の構想との乖離が生まれ、その課題が見えてきている。今年度はSDマップの見直しを検討しているため、SDの目的も含め実情に合ったSD構想を検討する。
	② 【組織運営等】 SPOD立ちあげ当初に描いていた構想(大学カリキュラムのようなもの)が変容しているようにも思える。一度、構想を見直し、現実的な構想を再度立てていただきたい。	

【すぐに検討が必要な課題】

事項	評価委員からの意見	対応策(案)
6. SPOD内ネットワークの強化	① 【組織運営等】 拠点校以外の大学の積極的な関与が見えにくい。たとえば本組織の運営に関して、各大学の役割と責任を明確にすること、積極的な役割分担を促すための支援を行うことなどが必要ではないか。	SPOD事業の運営についてはネットワークコア校が担当することとなっているが、研修実施にあたっては、コア校以外の加盟校からも講師を担当できる者の発掘・育成に取り組んでおり、こうした形で事業へ貢献いただいている加盟校も増えてきている。また、フォーラムはSPODのメインイベントの一つでもあるため、今後実施にあたっては、開催校の教職員のみならず各加盟校の教職員にも当日の運営の手伝いを呼びかけるなど、各加盟校が連携して事業を進められるような体制について検討する。
7. SPODにおける取組の評価、検証	① 【FD・SD共通】 カリキュラム／組織変容の継続的支援。複数の機関をパイロット校として、資源を投入するターゲットを絞りこみ、連携成果をあげるというアイデアについても検討するといいい。現状のように単発の研修会ではなく、組織変容、カリキュラム変容を長期的に促進するというプログラムである。対面と遠隔会議を年に何回か繰り返していくというシステムである。	SPODは加盟校の分担金による連携事業であるため、ある組織に絞って資源を投入するかどうかについては慎重に議論すべきである。ただし、調査・研究プロジェクト事業の1つ「組織変容検証ワーキンググループ」において、組織変容が見られる加盟校について、その経緯を調査する予定である。その結果を加盟校内で発信していくことにより、他加盟校の参考となり、組織改革の一助となることを目指す。
8. ポートフォリオの普及促進	① 【SD】 現在のポートフォリオは、身上調書と変わらない。これをあえてポートフォリオと読んでいく意義が不鮮明である。	スタッフポートフォリオ(SP)は、これまでの身上調書とは違い、職員の業績記録(エビデンス含む)、自らのビジョン(理念)・ゴール(目標)等を取り入れている。作成に当たっては、メンタリングを実施し、組織と職員個人のベクトルを近づけている。これらにより、職員自らがこれまでの業績に基づくキャリア形成を図ることができ、かつ、組織的な人材育成にとっても有効なツールとなっている。また、愛媛大学においては、人事異動の希望といった身上調書的な要素を取り入れた独自のSPを導入している。 このように、人材育成にとって有効なツールとなること、各組織独自のSPが考えられること等、SPには身上調書とは違った有効性や特長がある。今後、大学行政管理学会等でSPの有効性・特長を発表していくことにより、その普及に努める。
9. SPODの事業運営	① 【組織運営等】 これから「SPODフォーラム」を毎年各県に回し、オリンピックのように4年に一回フォーラムが各県に回っていくように定例化すると、四国全体が活性化するのはないか。	平成25年度については愛媛大学開催となるが、来年度については高知大学で開催予定である。ご提案の開催場所持ち回りの定例化については、各校の事情を考慮しながら、今後ネットワークコア運営協議会でルール化について検討していく。

【中期的に検討すべき課題】

評価委員からの意見	対応策(案)
【組織運営等】 当初事業計画から事業も拡大し深化してきている。SPOD事業における統合と分化の方向性について、中期計画の形で参加校で共有する時期に至っているように思う。	SPOD事業における統合と分化の方向性について、「SPOD将来構想ワーキンググループ」を今年度に立ち上げ、中長期の目標を検討していく。
【SD】 愛媛大学や次世代リーダーを越えて、加盟校全域にスタッフ・ポートフォリオを促進するための仕組みについて早急に議論すべきである。すでに大阪府立高専でもスタッフ・ポートフォリオの作成ワークショップが開催される予定である。SPOD内で生まれた取組をまずはSPOD内で普及させるべきである。	SPODフォーラム2013の統一テーマが「ポートフォリオ(TP・SP・LP)による質向上」であり、TP、SPの広報の場として情報発信に取り組む。 ただし、SPについてはSPODが開発したもので歴史も浅い上、メンタリングを実施しながら作成を行うものであるため、普及には時間がかかる。しかし、今後も普及のため学会等でSP導入の成果について積極的に発表していく。
【FD】 ティーチング・ポートフォリオをSPOD内でどのように位置づけていこうとされているのか、方向性が分からない。	
【FD】 四国全土という大規模でFDを共同で推進してこられて、それぞれの大学の学生は教員が変わっていることを実感しているのだろうか。	調査・研究プロジェクト事業の一つ「学生調査・IRワーキンググループ」が実施予定の学生アンケートの中で、学生の学習環境と併せ、教員に関する設問を入れる予定である。

【長期的に検討すべき課題】

評価委員からの意見	理由
【組織運営等】 SPODの地域性や資金面を考えると、国だけではなく地域の行政や民間企業との交流機会をつくっていくことが大切である。	SPODの今後の持続的な運営を考えた場合、自治体等との連携・支援を得ることは有用である。四国の大学活性化を通じた四国の活性化を目指し、社会貢献を視野に入れた取組を検討し、行政からの支援を得る方策も考えられるが、実現に向けてはニーズ調査・人的資源を含めて検討課題が多く時間を要する。
【FD】 FDer養成の取組は高く評価できるが、一時検討されていたFDerの資格化は、その後どのようになったのか明確にする必要がある。資格に関する方針を明確にしてほしい。	現在日本高等教育開発協会(JAED)において検討中であり、今後、その動向を見つつ検討していく予定である。

SPODフォーラム 2013



ポートフォリオ (TP, SP, LP) による教育の質向上

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

SPODフォーラムは… 大学・高専の教職員が自らの能力開発のために役立つ多種多様で質の高いFD/SDプログラム
ならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2013年8/20(火) ▶ 23(金) 愛媛大学 城北キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD) / 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

参加申込期間

SPOD加盟校の教職員限定受付 2013年6月28日(金)正午~7月12日(金)正午

※事前申込制(先着順)

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2013年7月16日(火)正午~7月31日(水)正午

参加費

SPOD加盟校の教職員 無料 SPOD加盟校以外の教職員 7,000円

※懇親会費、ランチセッションの弁当代は除く。

特徴

1 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員や高等教育開発者(ディベロッパー)、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2 職場で使える実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者は意見を出し合い知を共同で作上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3 SDプログラムも多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。(教員の方もSDプログラムに参加できます。)

詳細・申込はWEBをご覧ください ▶ <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

主な交通機関

※駐車スペースはありませんので、公共の交通機関の利用をお願いいたします。

- JR松山駅から
- 伊予鉄道市内電車…環状線①(古町方面行き)「赤十字病院前」下車
 - 伊予鉄バス……………東西線「愛媛大学前」下車
- 松山市駅から
- 伊予鉄道市内電車…環状線②(大街道方面行き)「赤十字病院前」下車

—参加者の声—

- はじめて参加したが、非常に熱気にあふれる前向きな雰囲気に圧倒されつつも、その中に入って夢中で取り組むことができた。
- 受講生だった方が講師を務められるなど、キャリア形成の、よいスパイラルも展開されているように感じた。
- 大学職員が危機感をもってこれからの高等教育に携わっていく必要性を体感した。



お問合せ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学教育企画課)
☎089-927-9154 ☒E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

●プログラムを受講する方は、必ず受講初日に、全体受付を済ませてください。

全体受付 ■場所: 愛大ミュージズ1階 ■時間: 8/20(火) 12:00~、8/21(水)~23(金) 9:00~

会場	愛大ミュージズ 1階	愛大ミュージズ 2階	愛大ミュージズ 2階	愛大ミュージズ 3階	愛大ミュージズ 3階	校友会館 2階	共通教育講義棟
時間	アクティブラーニングスペース2	M23	M24	M32	M33	サロン	12番教室
1日目 8月20日(火)	13:00~15:00 FD 高専の新任教員を、どう育成するか?—新任教員研修を作成しよう!— 坪井泰士 (阿南工業高等専門学校) 定員 12名	SD 改革戦略のつくり方序論①② 福島一政 (追手門学院大学) 定員 20名	SD 若手職員に知ってもらいたい『報・連・相』のコツ—もっと良くなる職場内コミュニケーション—①② 次世代リーダー—3期生 定員 28名	FD はじめてのラーニング・ポートフォリオ 山田剛史 (愛媛大学) 定員 50名	FD 先達に学ぶ、卒前シミュレーション医療教育①② 池上敬一 (獨協医科大学) 山脇孝 (愛媛大学) 定員 20名	FD・SD 共通 発達障がいのある学生をどう理解し、支援するのか 坂井聡 (香川大学) 定員 40名	
	15:30~17:30 FD 学習評価の基本 山田剛史 (愛媛大学) 定員 40名			FD 大人数講義法の基本 小林直人 (愛媛大学) 定員 50名		FD グラフィックシラバスの作成方法 佐藤浩章 (愛媛大学) 定員 40名	

2日目 8月21日(水)	10:00~12:00 FD・SD 共通 大学の危機管理①②—研究室マネジメントとハラスメント対応— 佐藤浩章・阿部光伸 吉田一恵 (愛媛大学) 定員 40名	SD スタッフ・ポートフォリオ作成ミニワークショップ①②③ 大竹奈津子・清水栄子・阿部光伸・上甲功治 (愛媛大学) 玉岡兼治 (聖カタリナ大学)	SD 若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座①② 秦敬治・仲道雅輝 (愛媛大学) 松井千代美 (松山大学) 定員 60名	FD・SD 共通 教育改善のためのIR入門ワークショップ①② 中井俊樹 (名古屋大学) 山田剛史 (愛媛大学) 定員 50名	FD・SD 共通 経営課題として中選対策に取り組むワークショップ①②③ 山本繁 (日本中選予防研究所) 定員 20名	FD ティーチング・ポートフォリオ作成ミニワークショップ①② 栗田佳代子 (東京大学) 定員 40名	SD 学務系プログラム (レベル1) ① 学生支援概論 米澤慎二 (愛媛大学) 定員 40名
	13:00~15:00		ランチセッション	弁当:事前申込み制 (お茶込み500円) ※1			② 入試情報調査論 菊川昭治 (愛媛大学) 定員 40名
	15:30~17:30 FD 教えずに学ばせる授業—自律学習プログラム入門— 坂田浩 (徳島大学) 定員 40名		SD 社会連携系プログラム (レベル1) 社会連携基礎 土居修身・兒玉直子 (愛媛大学) 定員 40名	FD・SD 共通 評価対応のためのIR—システム形成とその課題— 岩崎保道 (高知大学) 定員 15名		FD 理工系の講義形式授業の中で学生を輝かせるひと工夫 榊原久 (芝浦工業大学) 吉田博 (徳島大学) 定員 30名	③ 学生相談入門 野本ひさ (愛媛大学) 定員 40名

3日目 8月22日(木)	10:00~12:00 FD 効果的なグループワークの進め方 大竹奈津子 仲道雅輝・津曲陽子 (愛媛大学) 定員 40名	SD 職員のためのキャリアアップ講座—科研費を題材にして— 阿部光伸 (愛媛大学) 野口悟 (高知大学) 定員 40名	SD 職員向けマネジメントセミナー—もし、あなたの大学にドラッカーがいたら— 秦敬治・清水栄子 (愛媛大学) 定員 60名	FD・SD 共通 ツールを使ってコミュニケーション—自己理解と他者理解— 野口里美 (香川大学) 定員 28名	FD ルーブリック評価入門—考える、つくる、活用する— 保野秀典 (高知大学) 定員 40名	FD・SD 共通 学生の想いを聞き出す、引き出す—学生支援、はじめの一歩— 塩崎俊彦 (高知大学) 吉田博 (徳島大学) 定員 40名	ランチセッション ※1, ※2
	13:00~15:00 FD 学びを大学生の手にもどすための教育理論 富田英司 (愛媛大学) 定員 35名	SD 後輩ができた若手・中堅職員のための観察力養成講座 仲道雅輝・津曲陽子 久保秀二 (愛媛大学) 定員 40名	FD・SD 共通 大学改革を行う上でのトップマネジメント—金沢工業大学の教育改革と教学マネジメント— 石川憲一 (金沢工業大学) 定員 100名	FD 授業アンケートを活用した授業改善 澤田忠幸 (愛媛県立医療技術大学) 定員 40名		大学院生・学生 四国キャンパス元気プロジェクト2013—きやんばす—こらばれ〜しょん—①②③ 塩崎俊彦 (高知大学) 吉田博 (徳島大学)	
	15:30~17:45 FD・SD 共通 シンポジウム 南加記念ホール ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか? 藤本 元啓 (金沢工業大学) 栗田 佳代子 (東京大学) 吉田 一恵 (愛媛大学) 司会:佐藤浩章 (愛媛大学) 18:15~20:15 懇親会 会場:愛媛大学学生会館 会費:4,000円 (事前申込み制) ※3						

4日目 8月23日(金)	10:00~12:00 FD・SD 共通 会議マネジメント 秦敬治・大竹奈津子 (愛媛大学) 定員 40名	SD SDコーディネーター養成講座①② 阿部光伸・米澤慎二・秦敬治 (愛媛大学) *事前課題の都合上、本プログラムの申し込みは、7月25日(木)に締め切ります。 定員 40名	SD インストラクショナルデザイン(ID/教育設計)を活用した職員による企画・立案マネジメント 仲道雅輝・津曲陽子 (愛媛大学) 定員 40名	FD 授業研究会、授業コンサルテーションのすすめ 川野卓二・香川順子 宮田政徳 (徳島大学) 定員 30名	FD・SD 共通 プレゼンテーションの極意—聴き手を魅了する秘訣とは?—①② 田中省三 (愛媛大学) 定員 40名	大学院生・学生 四国キャンパス元気プロジェクト2013—きやんばす—こらばれ〜しょん—④ 定員 40名
	13:00~15:00 FD・SD 共通 プロジェクト・マネジメント—事業の動かし方、事始め— 泉谷昇 (いよこロシア大学) 定員 40名		SD 若手・中堅職員のためのコーディネート力養成講座 仲道雅輝・津曲陽子 兒玉健志 (愛媛大学) 定員 40名	FD コミュニケーションで成績を上げるチーム基盤型学習 (TBL) の手法 立川明 (高知大学) 定員 40名		FD 教養教育を担当する教員のための授業づくり講座 高藤隆仁・吉田博 (徳島大学) 定員 30名

※1 ランチセッションは、昼食をとりながらのプログラムです。弁当を参加申込み時にご注文いただくか、各自でご準備ください。事前に申込みされた方は、弁当代を全体受付時にお支払ください。なお、弁当の当日申込みはできません。
 ※2 8月22日(木)のランチセッション(11:30~13:00)は、「学生の想いを聞き出す、引き出す」と「四国キャンパス元気プロジェクト①」との合同セッションです。
 ※3 会費は全体受付時にお支払ください。

SPODフォーラム2013 シンポジウム実施要項 (案)

1. 日 時 平成25年8月22日 (木) 15:30~17:45
2. 場 所 愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール
3. タイトル シンポジウム「ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？」
4. 概 要 大学教育改革のツールとして「ポートフォリオ」が注目を浴びている。本シンポジウムでは、パネリストによる実践事例報告を踏まえて、学生・教員・職員の能力開発にあたってのポートフォリオの意義、効果、活用方法等について、議論を深める。
5. スケジュール ※司会進行 佐藤 浩章 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 准教授)
 - 15:30 開会挨拶 柳澤康信 (SPOD会長:愛媛大学長)
 - 15:35 シンポジウムの趣旨説明及びパネリスト紹介 (佐藤准教授)
 - 15:40 事例発表① (30分)
「金沢工業大学におけるラーニング・ポートフォリオの実践事例について (仮)」
藤本 元啓 (金沢工業大学 基礎教育学部 教授)
 - 16:10 事例発表② (30分)
「大学評価・学位授与機構におけるティーチング・ポートフォリオ及びアカデミック・ポートフォリオの実践例について (仮)」
栗田 佳代子 (東京大学 大学教育総合センター 特任准教授)
 - 16:40 事例発表③ (30分)
「愛媛大学におけるスタッフ・ポートフォリオの実践事例について (仮)」
吉田 一恵 (愛媛大学 総務部人事課 課長)
 - 17:10 休憩 (5分)
 - 17:15 総合討論 (30分)
 - 17:45 閉 会

FD・SD共通

プログラム番号 08223H シンポジウム

ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？

■講師



藤本 元啓
 (金沢工業大学 入試部長 基礎教育部 修学基礎教育課程 教授)
 皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程(国史学専攻)修了後、皇學館大学史料編纂所研究嘱託、熱田神宮学院講師、皇學館大学非常勤講師等を経て、2002 年より現職。専門は初年次教育・日本中世政治史・軍事史など、多方面に造詣が深く、最近の主たる研究テーマは、初年次教育の授業法、ポートフォリオに関する実証的研究など。



栗田 佳代子
 (東京大学 大学総合教育研究センター 特任准教授)
 東京大学大学院教育学研究科修了後、カーネギーメロン大学 Visiting Scholar、大学評価学位授与機構研究開発部准教授等を経て、2012 年より現職、博士(教育学、2002 年、東京大学)。現職では、大学教員を目指す大学院生を対象とした「フューチャーファカルティプログラム」を担当。専門は教育・心理統計、ファカルティ・ディベロップメント、教員評価。P・セルデン氏に師事し、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオの”正しい導入”について、ワークショップ開催や翻訳、講演等を通じた実践的な研究を行っている。



吉田 一恵
 (愛媛大学 総務部人事課 課長(危機管理室 副室長兼務))
 愛媛大学法文学部法学科卒業。愛媛大学理学部、医学部、農学部、研究協力部、国際交流センターで主に総務、国際交流を担当、広報室副室長(命室長)、広報室長を経て現職。広報室時から現在まで危機管理室副室長を兼務し、記者会見等を所掌、報道対応マニュアル等を作成、現在は、特に人権侵害事案に対応すると共に人材育成(SD)に取り組んでいる。

司 会 : 佐藤 浩章 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長・准教授)

■プログラム概要

大学教育の質向上のツールとして、ポートフォリオが注目されています。ポートフォリオとは、持ち運びできる(portable)二つ折りの紙(folio)という語源があり、学習内容をまとめる書類入れ(ファイル)のことを意味します。

学生の学習内容については学習(ラーニング)ポートフォリオがあり、量的な測定がしにくい判断思考、技能、態度といった能力の測定ツールとして、日本の大学にも普及し始めています。教員についてはティーチング・ポートフォリオ(教育業績記録)もしくはアカデミック・ポートフォリオがあり、教員の教育業績もしくは全般的な業績の厳選した記録として、FD や業績評価ツールとして導入する大学が増えています。こうした考えを職員にも応用したのもとして、スタッフ・ポートフォリオがあり、SD、キャリア開発、業績評価ツールとして導入している大学もあります。

SPOD では、これまでもポートフォリオを重視しており、教職員向けのポートフォリオ作成ワークショップを何度も開講してきました。

本シンポジウムでは、まず 3 人のパネリストに実践事例の提供をしてもらいます。学習ポートフォリオについては藤本氏、ティーチングならびにアカデミック・ポートフォリオについては栗田氏、スタッフ・ポートフォリオについては吉田氏にお話しいただきます。

後半部分では、ポートフォリオの意義、効果、普及方法について、パネリスト同士の討論を中心に進めていきます。参加者各人がポートフォリオの自分なりの意義づけができるようになることを目指します。また当日は、携帯電話やパソコンからのメールでも意見を受け付け、IT 機器を使ったインタラクティブなシンポジウムを作る試みも行う予定です。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月22日(木) 15:30~17:45
 会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール
 定 員 : 220名

「SPODフォーラム2013」 展示スペース展示物一覧表

場所：愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージズ1階
アクティブ・ラーニングスペース1

展示物名	種別	配布・閲覧	大学名
1 大学教育研究ジャーナル 第9号	冊子	配布	徳島大学
2 大学教育研究ジャーナル 第10号	冊子	配布	徳島大学
3 徳大広報 とくtalk	冊子	配布	徳島大学
4 2011(平成23)年度FD研究部会活動報告書	冊子	配布	徳島文理大学
5 2012(平成24)年度FD研究部会活動報告書	冊子	配布	徳島文理大学
6 平成25年度 学校要覧	冊子	配布	阿南工業高等専門学校
7 香川大学検定で学ぶ『香川大学の歴史』	冊子	配布	香川大学
8 香川高等専門学校案内2014	パンフレット	配布	香川高等専門学校
9 平成24年度香川高等専門学校 FD・SD研修会報告書	冊子	配布	香川高等専門学校
10 高知大学総合教育センター2011 年報	冊子	配布	高知大学
11 高知大学教育研究論集 第16巻	冊子	配布	高知大学
12 Collaboration Vol.2 地域協働教育学部門 研究論集	冊子	配布	高知大学
13 Collaboration Vol.3 地域協働教育学部門 研究論集	冊子	配布	高知大学
14 Lead 2013 夏号	広報誌	配布	高知大学
15 大学案内	冊子	配布	愛媛県立医療技術大学
16 教職員能力開発拠点パンフレット	パンフレット	配布	愛媛大学
17 FDカレンダー2013	カレンダー	配布	愛媛大学
18 FD必携マニュアル1巻 FDプログラムの開発・実施・評価	冊子	配布	愛媛大学
19 FD必携マニュアル2巻 ファカルティ・ディベロッパー入門講座	冊子	配布	愛媛大学
20 FD必携マニュアル3巻 授業コンサルテーションの実際	冊子	配布	愛媛大学
21 FD必携マニュアル4巻 コースデザイン・教授法ワークショップとFDネットワーク	冊子	配布	愛媛大学
22 大学教員のための授業方法とデザイン	書籍	閲覧	愛媛大学
23 大学教員のための授業方法とデザイン(玉川大学出版の新刊紹介)	チラシ	配布	愛媛大学
24 「教職員能力開発拠点」活動報告書(平成22年度)	冊子	閲覧	愛媛大学
25 「教職員能力開発拠点」活動報告書(平成23年度)	冊子	閲覧	愛媛大学
26 「教職員能力開発拠点」活動報告書(平成24年度)	冊子	閲覧	愛媛大学
27 愛媛大学における研究室教育の現状と課題	冊子	配布	愛媛大学
28 愛媛大学版 大学での学び入門2013	冊子	閲覧	愛媛大学
29 愛媛大学教育改革の歩み	冊子	配布	愛媛大学
30 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」による大学の教育力向上 活動報告書ダイジェスト版 平成23年度	冊子	閲覧	SPOD
31 SPOD紹介	ポスター	閲覧	SPOD
32 SPOD紹介DVD	DVD	配布	SPOD
33 平成20年度活動報告書	冊子	閲覧	SPOD
34 平成21年度活動報告書	冊子	閲覧	SPOD
35 平成22年度活動報告書	冊子	閲覧	SPOD
36 平成23年度活動報告書	冊子	閲覧	SPOD
37 平成24年度活動報告書	冊子	閲覧	SPOD
38 プログラムガイド2013	冊子	閲覧	SPOD

平成 25 年度 第 20/21 回 愛媛大学授業デザインワークショップ実施要項

平成 25 年 5 月 1 日

1. 主 催

愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室（教職員能力開発拠点）

「愛媛大学授業デザインワークショップ」は『四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）』事業の一環である。

2. 期 日

第 20 回 平成 25 年 7 月 6 日（土）～7 日 7 日（日）久万高原ふるさと旅行村（宿泊研修）

第 21 回 平成 25 年 9 月 2 日（月）～9 月 4 日（水）愛媛大学城北キャンパス 愛大ミューズ
（同じ内容ですのでどちらか一方の参加となります。）

<第 20 回>

集合・出発時刻 1 日目 8:00 愛媛大学城北キャンパス正門前集合
8:10 出発（マイクロバスで移動）

※現地までは、原則として、愛媛大学から出発するマイクロバスでの移動をお願いします。

解散時刻 2 日目 15:20 愛媛大学城北キャンパス正門前解散

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

<第 21 回>

集合・開始, 終了時刻 1 日目 8 時 50 分集合, 9:00 開始, 20:00 終了予定（交流会含む）

2 日目 8 時 50 分集合, 9:00 開始, 18:00 終了予定

3 日目 8 時 50 分集合, 9:00 開始, 14:00 終了予定

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

※上記日程でご都合が合わない方は、徳島大学、香川大学、高知大学においても同様の研修を実施しておりますので、そちらの研修にご参加ください。（詳細は 12 に表示）

3. 場 所

<第 20 回>久万高原ふるさと旅行村

〒791-1212 愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙 488 番地 電話 0892-41-0711

URL:<http://www.kumakogen.jp/modules/furusatomura/>

<第 21 回>愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番

<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html>

4. 参加対象者(一度参加した者は除く)

- 1) 一昨年度から今年度にかけて大学等に採用された、授業担当または担当予定の教員（授業担当経験 5 年以上を除く）
- 2) 参加を希望する教員
- 3) 愛媛大学テニユア・トラック教員

5. 実行委員

松本 長彦（実行委員長，教育・学生支援機構長）

佐藤 浩章（教育企画室副室長）

仲道 雅輝（教育企画室助教）

松本 章雄（能力開発室）

小林 直人（教育企画室長）

山田 剛史（教育企画室准教授）

大竹奈津子（教育企画室助教）

秋山 裕佑（能力開発室）

6. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には、授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し、参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

7. 目標

- 1) 適切な目的・目標設定ができるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループ作業を、自らの授業で導入することができるようになる。

8. 研修形態

- 1) 体験型研修です。複数のセッションに分かれて、ミニ講義とグループ作業を繰り返します。
- 2) 異なる学部 of 教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) 研修自体がグループ学習形式であり、学生参加型授業を体験します。

9. その他

- 1) 『愛媛大学 FD ハンドブック もっと!!授業を良くするするために』第一巻（黄色い冊子）をテキストとして使用します。お手元にない方は、当日会場でお渡しします。
- 2) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 3) 第 20 回（7 月実施）では宿泊いたしますので、洗面道具・タオル・寝間着（パジャマ）・虫さされなどの常備薬、懐中電灯等をご準備ください。
- 4) 参加費として、第 20 回（7 月実施）は、8,500 円程度（宿泊費、食費、交流会費など）、第 21 回（9 月実施）は、5,000 程度（食費、交流会費など）を当日会場で徴収します。詳細は後日お知らせします。
なお、ご都合により参加できなくなる場合は、1 週間前までに必ずご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費をご負担いただくことがあります。
- 5) 第 20 回（7 月実施）に参加する愛媛大学の教員は、出張扱いとなりますので、各部署の総務担当にお問い合わせ願います。また、愛媛大学正門から会場までのマイクロバスを運行しますので、ご利用ください。
- 6) 当日、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので了承ください。
- 7) 修了証書は、全日程に参加された方の方に授与されますので、あらかじめご了承ください。
- 8) 事前にアンケートをお願いすることになりのでご協力お願いいたします。

10. お申し込み・問い合わせ

以下の項目をご回答の上、申し込み先にご連絡ください。

※愛媛大学以外の方は所属大学の担当窓口にお申し込み下さい。

- 1) お名前（氏名・ふりがな）
- 2) ご所属（学部、機構、センター等）
- 3) メールアドレス
- 4) 電話番号
- 5) 愛媛大学でテニユア・トラック適用者の方はその旨をお知らせ下さい。

<愛媛大学申し込み・問い合わせ先>

E-mail : otake.natuko.mc@ehime-u.ac.jp TEL : (089)927-8922 (担当 大竹)

11. プログラム日程(宿泊研修の予定)

○第 20 回（7 月実施）スケジュール

第 I 部 1 日目（朝・昼・夕）プログラム

時刻	内容
9:30-9:40	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
9:40-10:05	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク

10:05-10:45	(3) 講義Ⅰ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方 ・授業計画の立て方
10:45-12:00	(4) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
12:00-13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00-13:40	(5) 講義Ⅱ 「何が学生の学びを促進するのか？」
13:40-14:20	(6) 講義Ⅲ「様々な授業方法」 ・講義形式のメリット・デメリット ・双方向型授業のコツ ・体験型授業・参加型授業
14:20-14:30	休憩
14:30-15:00	(7) 講義Ⅳ「よりよい成績評価の仕方」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象
15:00-16:00	(8) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・授業計画と評価計画
16:00-16:10	休憩
16:10-17:25	(9) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 12分
17:25-18:00	(10) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・授業計画案作成

第Ⅱ部 1日目（夜）プログラム日程

時刻	内容
18:00-19:00	夕食
19:00-21:00	(11) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画案作成
21:00-21:30	交流会
21:30-	自由時間・お風呂・就寝

第Ⅲ部 2日目（朝・昼）プログラム日程

時刻	内容
7:30-8:30	朝食
8:30-10:00	(12) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・役割決定・授業の練習

10:00-12:00	(13) ミニ授業 (導入の 10 分) <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業紹介 ・ ミニ授業 ・ 討議・検討 <div style="float: right; text-align: right;"> 10 分 15 分 </div>
12:00-12:30	(14) 閉会式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返り (学んだことは何か? どう実践に活かすか?) ・ 修了証書授与 ・ 閉会の言葉
12:30-13:30	昼 食

13:45 現地出発 15:20 解散予定

※内容等予定は変更になる場合がございます。

○第 21 回 (9 月実施) スケジュール

第 I 部 1 日目 (朝・昼・夕) プログラム

時刻	内容
9:00-9:10	(1) オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の目的・目標の確認 ・ スタッフ紹介とお願い
9:10-9:40	(2) アイスブレイキング <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ グループワーク
9:40-10:20	(3) ミニ講義 I 「何が学生の学びを促進するのか？」
10:20-10:30	休 憩
10:30-11:30	(4) ミニ講義 II 「シラバスの書き方 & よりよい成績評価の仕方」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定の立て方 ・ コースデザイン ・ 成績評価の目的 ・ 評価の方法と評価対象
11:30-12:00	(5) グループワーク I 「共通教育科目の開発 I」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定 ・ 授業計画 ・ シラバス作成
12:00-13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00-14:10	(6) グループワーク II 「共通教育科目の開発 I」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定 ・ 授業計画 ・ シラバス作成
14:10-14:20	休 憩
14:20-15:00	(7) ミニ講義 III 「様々な授業方法」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義形式のメリット・デメリット ・ 双方向型授業のコツ ・ 体験型授業 ・ 参加型授業

15:00-17:30	(8) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・シラバス作成 ・授業計画と評価計画
18:00-20:00	交流会

第Ⅱ部 2日目プログラム日程

時刻	内容
9:00-9:40	(9) ミニ講義Ⅳ「クラスデザイン」
9:40-12:00	(10) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・授業計画案作成
12:00-13:00	昼食
13:00-14:30	(11) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 15分
14:30-14:40	休憩
14:40-15:40	(12) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画案作成
15:40-16:20	(13) ミニ講義Ⅴ
16:20-18:00	(14) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・授業計画案作成

第Ⅲ部 3日目プログラム日程

時刻	内容
9:00-10:00	(15) グループワークⅥ「共通教育科目の開発Ⅵ」 ・授業の練習
10:00-12:30	(16) ミニ授業（導入の15分） ・授業紹介 ・ミニ授業 15分 ・討議・検討 20分
12:30-13:20	昼食
13:20-14:00	(17) 閉会式 ・振り返り（学んだことは何か？どう実践に活かすか？） ・修了証書授与 ・閉会の言葉

※昼食はお弁当を準備いたします。

※一日目の交流会はできる限りご参加ください。

※内容等予定は変更になることがあります。

12. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- 1) 愛媛大学「授業デザインワークショップ」及び以下の徳島大学、香川大学、高知大学で開催されてい

る新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク(SPOD)内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。

2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学申し込み先にご連絡ください。

3) 以下のプログラムは、愛媛大学テニユア・トラック制度におけるPD認定プログラムとして認定されています。受講する際は、別途、旅費等が必要になります。

◆徳島大学「教育力開発基礎プログラム」

【日程】8月30日(金)～8月31日(土)

【会場】徳島大学大学開放実践センター2階(6号館 201)

【申し込み先・問い合わせ先】

徳島大学教育改革推進センター(担当/吉田)

TEL:088-656-9865

E-mail:t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp

◆香川大学「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】9月12日(木)～13日(金)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ(担当/石井)

TEL:087-832-1153

E-mail:gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

◆高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」

【日程】9月2日(月)～9月3日(火)

【会場】高知大学共通教育棟3号館1階310教室

【申し込み先・問い合わせ先】

高知大学学務部学務課(担当/有澤・石川)

TEL:088-844-8652

E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

平成25年度徳島大学全学FD推進プログラム
「教育力開発基礎プログラム」実施要項

1 目 的

各大学における教育の質向上への課題が高まる中、実質的なFDの取り組みを進めるための全学FD推進プログラムの一つとして、本研修を毎年実施しています。この研修では、教育の質向上及び問題解決のための相互交流と日常的な教育改善を重視しています。また、授業について教員同士が学び合う場を提供する事で、教育の質向上のためのコミュニティ形成につながることを期待しています。

2 目 標

1. FD活動の理念，活動計画を理解する
2. 授業を計画し，実施し，評価する方法を体得する
3. 授業研究の仕方を理解し，実践できるようにする
4. FD参加者同士の仲間づくりをする

3 概 要

この研修では、主に授業設計と教育技術に関する理論と実践を学んでいきます。主な活動内容は、シラバスと授業計画の作成、模擬授業です。体験を通して、授業の目的、到達目標の設定、授業実施の留意点、評価方法等について理解し、具体的な授業計画を立て、模擬授業を実施します。これらの活動を通してご自身の授業について考え、振り返ることで、実践的な教育力の向上を目指します。(研修前にシラバスと授業計画書を一度作成頂くこととなります。)

4 実施日 平成25年8月30日(金)・31日(土)

5 実施場所 共通教育棟6号館201(徳島大学大学開放実践センター2階)
*参加人数によっては教室を変更する場合があります

6 研修プログラム 別紙のとおり

7 対象者 (1) 徳島大学

- ・学外より、講師または准教授採用後1年以内の教員
- ・学内で、助教から講師または准教授昇任後1年以内の教員
(ただし、所属が学部以外のセンター等、病院の場合、及びプロジェクト採用などの場合は除く。)
- ・学部等から推薦を受けた者(助教及び教授等)及び希望者
- ・平成24年度「教育力開発基礎プログラム」欠席者

【参加免除について】以下に該当する場合、参加が免除されます。

- ①学外で同様の研修を受けた場合(他大学等での研修修了者については、研修内容等がわかる資料を提出の上、個別に対応する。ただし、原則「授業コンサルテーション・授業研究会」への参加を義務とする。)
- ②診療業務を主に担当している場合

【研修の代替について】

やむを得ない理由により本研修を欠席する者で、SPOD*の同様の研修に参加した場合は、教育力開発基礎プログラムの代替を認める。(ただし、原則「授業コンサルテーション・授業研究会」への参加を義務とする。)

(2) SPOD*加盟校

SPOD加盟校の大学・短期大学・高等専門学校の新任教員(若干名)

*SPOD=四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

8 参加費 無料

9 その他 「教育力開発基礎プログラム」対象者は、原則「授業コンサルテーション・授業研究会」への参加を義務とします。

※「授業コンサルテーション・授業研究会」の詳細は、
<http://www.cue.tokushima-u.ac.jp/fd/article/0000268.html> をご覧ください。

10 主 催 徳島大学FD委員会/四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

教育力開発基礎プログラム（案）

第1日（2013年8月30日・金曜日）

集合場所：共通教育6号館201（徳島大学大学開放実践センター2階）

時刻	内 容	講師・担当者	備 考
9:00-9:30	・受付（共通教育6号館201） *9:20までにお集りください		7:00AM 徳島市に「大雨警報かつ暴風警報」または「洪水警報かつ暴風警報」が出ていたら中止
9:30-10:00	(1) オリエンテーション ・大学教育、FD、SDへの期待 ・研修のねらいと意義 ・進め方とスタッフ紹介	川野卓二（進行） 副学長（教育担当） 高石喜久 FD委員会委員長 日置善郎	教室：6-201
10:00-10:30	(2) アイスブレイク「忘れられない授業」 参加者自己紹介・交流	吉田博	教室：6-201
10:30-11:40	(3) WS「質の高い授業を目指すためには？」 理想の授業と現状から授業の課題を探る	香川順子	教室：6-201
11:40-12:40	休憩 各自で昼食		生協食堂・売店営業
12:40-14:45	(4) 講義・ワーク「よりよい授業実施のために」 ・授業設計と評価 ・シラバス、授業計画書の検討・修正 ・模擬授業説明	川野卓二 宮田政徳 香川順子	教室：6-201
14:45-15:00	休憩		
15:00-17:40	(5) グループワーク「模擬授業・授業検討会」 （3人グループで実施） ・模擬授業の実施（撮影） 一人15分以内 ・映像を基に検討会 一人20分 →チェックリストを基によかった点、改善点等を検討する ・2日目の模擬授業代表者の選出と役割分担を決定	各班司会：FD委員 ワーク支援： スタッフ全員	教室：各班グループ 部屋へ移動 第1講義室（1階） 第2講義室（1階） 6-303講義室（3階） 6-306講義室（3階） インテリジェントラボ（3階）
18:00-20:00	交流会（任意参加）	吉田博	生協食堂2階

第2日 (2013年8月31日・土曜日)

時刻	内 容	講師・担当者	備考
9:30-10:00	・集合、模擬授業準備 (教材印刷が必要な場合は9:00集合)	スタッフ	教室: 6-201
10:00-12:15	(6) 模擬授業実施 (グループ代表による模擬授業) A班 (10:00-10:30) B班 (10:30-11:00) 休憩 (15分) C班 (11:15-11:45) D班 (11:45-12:15)	司会: 吉田博 コメンテーター: FD委員 支援: スタッフ全員	教室: 6-201 〈模擬授業実施手順〉 ・模擬授業・授業検 討会報告 (代表よ り2分) ・選出理由(班メンバ ーより3分) ・模擬授業 (15分) ・質疑応答(5分) ・交代(5分)
12:15-13:15	休憩 昼食 (交流会) *全員参加		*生協休業
13:15-14:15	(7) プログラムのまとめ ・模擬授業のまとめ ・講評 ・授業コンサルティング、 ティーチング・ポートフォリオについて ・修了証書授与 ・アンケート ・おわりの言葉	川野卓二 副学長 (教育担当) 高石喜久 FD委員会委員長 日置善郎	教室: 6-201

*青字…参加者が決まり次第検討

高知大学 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ2013 実施要領

研修の目的

大学教育の変化に対応して、授業の準備から運営に関する基礎的な事柄を学びます。

授業のデザインとそれをシラバスに落とし込んでいく過程、授業方法や成績評価に関する考え方などを、グループワークを通じて体験的に身につけていくことができます。

* このワークショップはSPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）の事業の一環として、SPODの標準プログラムに準拠して実施されます。

研修の目標

- 1) 適切な授業の目的・目標が設定できるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) さまざまな授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) さまざまな成績評価の方法を知り、目的・目標あった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループワークを体験し、授業に取り入れることができるようになる。

研修の形態

- 1) ミニ講義とグループワークを繰り返しながら進めてきます。
- 2) 所属組織や専門領域を超えて意見交換することで、自らの授業を客観的にとらえられます。
- 3) ワorkshop形式の研修となりますので、学生参加型授業の一端を体験しつつ学べます。

期日

平成25年9月2日（月）・3日（火）

* 9月2日には、夕食をともにしながらの交流会があります。それぞれの部署を越えた新任教員間の関係づくりをめざしてまいります。

会場

高知大学 共通教育棟 310 教室

参加対象者

- 1) 一昨年度から本年度にかけて大学等に採用された教員（授業担当経験5年以上の方を除く）
- 2) 上記以外で参加を希望する教員

運営スタッフ

塩崎俊彦（高知大学総合教育センター大学教育創造部門 教授）

立川 明（高知大学総合教育センター大学教育創造部門 准教授）

俣野秀典（高知大学総合教育センター大学教育創造部門 講師）

有澤英之（高知大学学務課総合教育センター事務係）

石川 愛（高知大学学務課総合教育センター事務係）

学生の学びを支援する授業準備 ワークショップ

開催日

2013年
9/2(月)・3(火)

会場：高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

対象者：新任教員（大学での授業担当経験5年未満）および 新たに大学の授業を担当する教員

交流会：1日目終了後

高知大学
朝倉キャンパス
共通教育棟
3号館1階
310番教室

1日目 2013年9月2日(月) 9:00~17:00

1. オリエンテーション/アイスブレイク
2. グループワーク「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
4. グループワーク「共通教育科目の開発①（目標設定と授業計画）」
5. ミニレクチャー「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
6. ミニレクチャー「様々な成績評価、その目的と方法」
7. グループワーク「共通教育科目の開発②（授業計画と評価の方法・スケジュール）」
8. グループ発表「グループワーク中間報告」
9. グループワーク「共通教育科目の開発③（授業の計画・指導案）」

※終了後 交流会（～20:00頃まで）

2日目 2013年9月3日(火) 9:00~12:00

10. グループワーク「共通教育科目の開発④（最終発表準備）」
11. グループ発表「新科目の紹介とミニ授業」
12. ふりかえり

1日目終了後の交流会について

1日目のスケジュール終了後、夕食をとりながら参加者の意見交換や懇親のための交流会を設定しております。

よって、1日目終了時刻は20:00ごろを予定しておりますので、何卒ご了解いただきますようお願い申し上げます。

また、夕食代および研修中の飲料等の実費として、当日1,500円を徴収させていただきますので、ご用意くださいますようお願い致します。

*お申込み・お問い合わせ先

高知大学 総合教育センター事務係

〒780-8520

高知県高知市曙町2丁目5-1

Tel: 088-844-8652

E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

総合教育センター大学教育創造部門では、授業改善や新たな授業に取り組みられる教員のために、さまざまな支援を行っています。御相談、申込については、下段のメールアドレス宛にお願い致します。

授業相談／授業コンサルティングのご案内

授業をやっていく上での疑問やお悩みなどのご相談に対応しています。お気軽にお問い合わせください。

また、授業改善のための授業コンサルティングも実施しております。こちらは授業中間期に実施するのが効果的です。下記を目途にお申し込みください。

1学期 5月17日(金)まで 2学期 10月18日(金)まで

「学生の反応がいまひとつ」、「授業改善の手順がわからない」などのご相談について、一緒に考え解決していきます。

グループワーク授業OJTのご案内

本学が取り組んでいるグループワーク型授業について、実際に体験していただきながら、今後の指導のための理解を深めていただくために、当部門ではOn the Job Trainingを実施しております。下記の授業にOJT教員として参加していただき、グループワーク型授業の考え方や進め方などを体験することができます。

OJT対象授業（1学期開講分）

サイエンスリテラシーの化学：月曜5時限
 環境を考える：木曜4時限
 課題探求実践セミナー（自由探求学習Ⅰ）：木曜4・5時限（隔週開講）
 課題探求実践セミナー（学びを創る）：金曜4時限
 課題探求実践セミナー（自律協働入門）：金曜5時限

*お申込み・お問い合わせ先

高知大学 総合教育センター事務係
 〒780-8520
 高知県高知市曙町2丁目5-1
 Tel:088-844-8652
 E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

平成25年度高知大学セミナー表

日 時	日 時	場所	プログラム名	講 師
7月18日(木)	13:00 ~17:00	会議室 1	大学職員のための企画力養成講座	阿部光伸 (愛媛大学教育企画室)
9月2日(月)~ 9月3日(火)	9:00 ~17:00	310	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (総合教育センター)
9月5日(木)	13:30 ~15:30	310	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ~考え方と進め方~ <秋季FDセミナー>	俣野秀典 (総合教育センター)
9月6日(金)	13:30 ~16:30	310	コミュニケーションで知識を蓄える TBLチーム基盤型学習法<秋季FDセミナー>	立川明(総合教育センター)
9月12日(木)	13:30 ~15:30	会議室 3	成績評価とフィードバック~評価の原則から ループリック評価まで~ <秋季FDセミナー>	俣野秀典 (総合教育センター)
9月26日(木)~ 9月27日(金)	10:00 ~17:00	311	ファシリテーション力養成道場	立川明・塩崎俊彦 (総合教育センター)
9月30日(月)	13:30 ~17:00	310	TA講習	立川明(総合教育センター)
1月22日(水)	13:30 ~16:00	310 (予定)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方 <春季FDセミナー>	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (総合教育センター)
2月7日(金)~ 2月8日(土)	10:00 ~17:00	310	ファシリテーション力養成道場	俣野秀典・塩崎俊彦・立川明 (総合教育センター)
3月20日(木)	13:30 ~15:30	310	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと <春季FDセミナー>	立川明(総合教育センター)
3月26日(水)	13:30 ~17:00	310	初年次科目のためのグループワークの技法 <春季FDセミナー>	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (総合教育センター)
3月27日(木)	10:00 ~18:00	310	能動学習支援者必須! グループワークのための ファシリテーション入門 <春季FDセミナー>	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (総合教育センター)
3月31日(月)	13:30 ~17:00	142 (予定)	TA講習	立川明(総合教育センター)

開催場所 < 310/311 : 共通教育棟3号館1階310教室/311教室 > < 会議室1/会議室3 : 総合研究棟2階会議室1/3 >
 < 142 : 共通教育棟1号館4階142教室 >

平成 25 年度香川大学新任教員研修会
『第 4 回よりよい授業のためのFDワークショップ』実施要項

1. 目的

授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につけることを目的とします。

2. 対象者

・香川大学

- 1) 一昨年度から今年度にかけて新規採用された、授業担当または担当予定の教員
(授業担当経験 5 年以上の教員、本ワークショップ受講修了者を除く)
- 2) その他参加を希望する教員

・SPOD加盟校

参加を希望する教員

3. 日程

平成 25 年 9 月 12 日(木)～13 日(金) (1 泊 2 日)

(詳細は別紙日程表のとおり。)

4. 場所

休暇村讃岐五色台

(〒762-0015 香川県坂出市大屋富町 3042 電話 0877-47-0231)

5. 費用

研修の費用は無料です。

ただし、宿泊・食費等の実費を徴収します。1 泊 4 食 約 10,000 円

*SPOD 加盟校の旅費については、各大学・短大・高専でご負担願います。

6. 修了証書

研修修了者には、修了証書を授与します。

7. 主催

香川大学 大学教育開発センター

8. その他

この研修会は、SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）の研修プログラムとして、SPOD加盟校に開放し実施します。

研修会の事務については修学支援グループ及び給与福利グループが担当します。

日程表

■第1日 平成25年9月12日(木)

8:30までに香川大学北キャンパス 東門付近に集合

時刻	内容
8:30-9:00	集合・バスにて移動
9:00-9:15	(1) オリエンテーション ・開会あいさつ ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
9:15-9:45	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク
9:45-10:15	(3) グループワークⅠ 「学生の考える良い授業と悪い授業」
10:15-10:25	休憩
10:25-11:10	(4) 講義Ⅰ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方 ・授業計画の立て方
11:10-12:00	(5) グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
12:00-13:00	昼食
13:00-13:50	(6) 講義Ⅱ「様々な授業方法」 ・講義形式のメリット・デメリット ・双方向型授業の方法
13:50-14:00	休憩
14:00-14:40	(7) 講義Ⅲ「よりよい成績評価のために」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象
14:40-16:10	(8) グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 ・授業計画と評価計画
16:10-16:30	休憩
16:30-18:00	(9) グループ発表Ⅰ「中間発表」 ・授業計画のプレゼン 5分×4 ・質疑応答 10分×4
18:00-19:00	夕食
19:00-21:00	(10) グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 ・授業計画案作成
21:00～	懇親会・入浴・自由時間

2日目 9月13日(金)

時刻	内容
7:30-8:00	朝食
8:00-10:00	(11)グループワークV「全学共通科目の開発Ⅳ」 ・役割決定 ・授業の練習
10:00-12:00	(12)グループ発表Ⅱ「ミニ授業(導入の10分)」 ・授業紹介 5分 ・ミニ授業 15分 ・討議・検討 10分
12:00-12:30	(13)閉会式 ・グループ作業の振り返り(学んだことは何か?どう実践に活かすか?) ・修了証書授与 ・閉会の言葉
12:30-13:00	昼食(研修の振り返り)

13:00 集合写真撮影・送迎バスにて移動, 香川大学にて解散